

を下降させて下腹部の前で左手の掌の上に置く。人の身分の下落した事。

夫 「夫婦」の手まねをして、男性(親指)を残しておいて一方の人差指で指す。

弟 「兄」と同じ前提があつて中指を腹部前辺りに下げる。

伽喃、幼い——適する——話。

一昨日 「昨日」の要領で、二の数(中指と人差指)を超越しに後方へ押しやる。または「寝る——二つの過去」。

男 男性を表わす指は主として親指である。時には中指(この場合指の背は相手に；即ち掌は内側)で表わす場合がある。

「男たち」と複数で表わすには、両手の親指(指頭が上をさす)胸の前辺りで合わせ、両手の手首をクルクル動かして左右に離して行く。

一昨年 年——一つ——過去。

大人おとな

(イ) 掌を下に向けて五指を屈めた右手を右肩の上にかぶせるようにし、その手を上へ上へ上げて行く。背丈の高さを表わす。

(ロ) 「大」の文字を右手人差指で空間に書き、次に左手人差指と右手人差指を「人」の文字の形に組み合わせる。

劣るだだ (イ) 指頭を上にした親指の両手を前と手前に少しの間隔をおいて対立させ、両方をくらべるように互に上下に動かして、最後に手前の方の手を下にぐっと下げる。くらべて手前の方が劣ると云うことになる。(ロ) 「負ける」と同じ手まね。

踊る 両手を交互にしなよく動かして踊る身振りをすればよい。

衰える 握り拳をした手の腕の肘を、力こぶを見せるように曲げ(「勢」「力」の手まね)てから、その腕をぐんやりと力なく下に垂らす。

驚く 掌を内側にして五指の指頭を上にした手を（親指と人差指の間をV字形に開く）胸の下部辺りにあてがい、そのまま、上へ首もとまですり上げる。驚いて腹の臓腑が上へ激動するばかりと云うこと。

同じ 「一緒」と同じ手まね。

伯母 父（或は母）の姉。

父（或は母）に添えて左の女性（薬指）をそれより少し高い目上げる。

叔母 父（或は母）の妹。

父（或は母）に添えて、女性（薬指）を少し低い目に下ろす。

鬼 指頭を上にした人差指の両手を頭の上左右につけて鬼の角を表わす。

各々 人差指の指頭を胸下部に直角につけ、そのまま指頭を上へすり上げてから、その指を前にさし出す。

これは「自分一人」と云う手まねである

が、これを左右両手の人差指で交互に手まねすると、「自分一人自分一人」となって、即ち「めいめい」「各々」「夫々」と云うことになる。

憶える 右手を頭右上で何にか掴むように、しっかりと五指を握りしめる。頭の中にしっかりと把握したこと。

おぼつかない 親指と折り曲げられた他の四指の間に同じ側の頬を挟みつまみ、思案げに顔を少し傾ける。「むづかしい」「出来ない」の手まねともなる。

重い 下腹部の前辺りから、両手で物を持ち上げようとして、重さで持ち上げかねる身振表情。

思い（思う） 人差指の指頭を頭（こめかみの上辺り）につける。

思いきる 「諦める」と同じ手まね。

思い忍ぶ（思い焦れる） 掌を前に向け五指